

2025年10月6日(月)~11月28日(金)

10:00-17:00 土・日・祝休館 \*10/11(土)・12(日)・13(祝)と、 11/1(土)・2(日)は開館

## 会場/九州大学 伊都キャンパス フジイギャラリー

\*特別公開
■ 祝·重文指定「金光明最勝王経」 10月9日(未)~10月14日(火)•11月4日(火)~11月13日(未)

## 九州大学100年の中国学研究

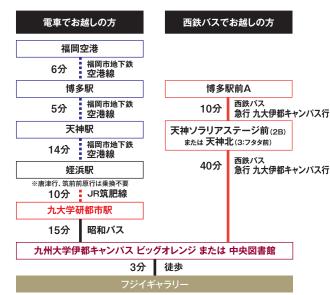
The 100 Years of Sinological Studies at Kyushu University



九州大学は、その立地環境にも恵まれ、中国と深い関わりがあ る。 開学の翌々年 (1913) には革命家孫文が来訪し、その時の揮 毫「学道愛人」は今も中央図書館に掲げられている。また近代の 文豪郭沫若も本学医学部に学んだ所縁があり、「実事求是」の 額は後年(1955)本学で講演を行った際の染筆である。本学の 人文科学研究院および比較社会文化研究院そして言語文化研究 院には、その前身である法文学部、教養部以来、日本の中国学 (中国を淵源とする思想や文化の研究) をリードする錚々たる研究 者が在籍し、研究と指導に当たってきた。1926年に法文学部助 教授に着任した楠本正継(1896~1963)を筆頭に、目加田誠 (1904~1994)、岡田武彦 (1908~2004)、濱一衛 (1909~ 1984)、荒木見悟 (1917~2017)、岡村繁 (1922~2014) など、日 本の中国学を力強く牽引した高名な学者たちが本学の教壇に 立った。また、これら先人たちの孜々たる研究成果の一端として、 本学図書館には、全国はもとより海外の研究者も注目する貴重な 図書資料が数多く所蔵されている。朝鮮古写本『朱子語類』140 巻や、唐の玄宗皇帝の肉筆を唯一現在に伝える「紀泰山銘」の 拓本(拓本自体も既に100年近い由緒を持つ)、古典小説三国志 演義の貴重な版本『三国志伝』20巻などは、特に「九州大学本」 として学界でも認知されている貴重書である。これら九州大学の 中国学研究に関する「ヒト・モノ・コトガラ」を一堂に集めてご紹 介します。

なおこのたび新たに重要文化財指定を受けた春日政治・和男 両名誉教授旧蔵の「金光明最勝王経」も期間限定で特別公開さ れます。





※できるだけ公共交通機関をご利用ください。



郭沫若の来学(昭和30年)



孫文「学道愛人(道を学びて人を愛す)」

会場お問い合わせ

フジイギャラリー

〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学伊都キャンパス・イーストゾーン(椎木講堂南隣) Tel: 092-802-6973 E-mail: fujiigallery@jimu.kyushu-u.ac.jp



最新の開館状況や交通アクセスについて、 詳しくはフジイギャラリーのウェブサイトをご覧ください。 https://fujiigallery.kyushu-u.ac.jp